

川の水の行方

真光寺川を清流にする会

世話人 山口拓郎

極寒の季節は水に入っただけの作業は困難である。その機会に真光寺川ゆかりの地を訪ねることが恒例になっている。鴨長明は方丈記の冒頭に「ゆく河の流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず。」と記している。時々、真光寺川の水の行方を考えることがある。地図で確かめると真光寺川の水は鶴見川に合流し30Km余りの旅を経て生麦のあたりで大海に注いでいる。1月例会では鶴見川の河口周辺を探索することになった。そのことを含め、11月ー1月の真光寺川関連の出来事を記してみたい。

11月

11月3日(水)文化の日

朝から抜けるような青空が広がっていた。「のずたの丘の上秋まつり」が開催され女性スタッフが中心になって参加した。会場は色とりどりの親子ずれでにぎあう。真光寺川の河原に自生するジュズダマを使ってのお手玉・ブレスレット作りは好評だった。またエノコログサや松ぼっくりを空カンで蒸し焼きにする「花炭」は造化の巧まざる美が多くの感動を呼んでいた。

11月14日(日)11月度清掃日

曇天、少し肌寒い。9時半、いつものように開戸親水に集まる。和光鶴小4年生の女子児童2名が加わる。前日、担任の石川先生から依頼があった。クラスで真光寺川を学習しているそうだ。短い長靴を履いているが水に入るのは無理だ。最もゴミの多い矢崎橋周辺の河原で作業してもらう。作業を終えて能ヶ谷いこい会館で昼食をとりながら子ども達の質問を受ける。

11月18日(木)水質検査サンプル採集

風冷たい。下堰親水、コイは見えない。広袴公園、サギが楊に十羽近く群れていた。

11月19日(金)麻生総合高校生実習

柿生高校と柿生西高が統合されて麻生総合高校となったそうだ。担任の笠松先生から体験学習協力の依頼があった。

生憎、雨模様だった。1時過ぎ、尾根を越えて先生と学生十数名が広袴公園に来る。山本さんから鳥の話。真光寺川に沿って歩く。途中、田圃の中の湧水を見もらう。下堰親水で透視度とCODのテスト。折から花壇に「かわらのぎく」が満開。岩上さんに植物の絶滅品種について話してもらう。後日、礼状と感想文が送付されてきた。

12月

12月9日(木)水サンプル採集

年末なので例月より早く実施する。やはり下堰親水にコイの姿はない。

12月12日(日)12月度清掃日

曇天、雪がてつとなる。

水が冷たい。ゴミの量は結構多い。放置された廃品になってしまった自転車もときどき回収する。昔見た「自転車泥棒」というイタリア映画を思い出す。終了後、五條さんと真光寺中のピオトープを見に行く。春になったら真光寺川に自生する植物を植えてい。

12月13日(月)

所見あり夕霧帰宅。鶴見川の六巻先生から電話があつた旨聞く。「明日、午前、4年38名が下堰親水で体験学習をすることになっている。トイレのこともあり能ヶ谷いこい会館を手配してほしい」とのこと。急遽、高橋さんと連絡を取り手配する。八両手を尽くすが「今日の明日」で無断なことが判る。最後の手段として最寄りのセブンイレブンに出かけ、トイレ借用をお願いする。人柄のいいご主人が快く応じて下さり先ずはほっとする。

12月14日(火)

快晴だが気温はやや低い。

9時過ぎ、下堰親水は鶴見小の4年生80名の元気な声で一軒になる。「生き物を観察する組」「水質等を調べる組」に分かれている。もう一組は「源流を探索する組」で直接源流へ向かったという。水は冷たいが子供たちは元気だ。川に入って魚を遡る者、ザリガニを取り歓声を上げる者。観察組には透視器で測定してもらった。2時間余りはおもちゃ箱をひっくり返したようににぎわいだった。11時半、鉄道を経って元気に帰って行った。

2月

1月9日(日)月例会

朝から気持ちのいい青空が広がっている。清掃日だが水が冷たい季節なので恒例のミニウォークとなる。鶴見川の河口を訪ね、真

光寺川の水の行く末を確かめたいと云うねらいである。

一行15名、京浜急行「花月園前駅」で下車。この辺り幕末の「空襲事件」ゆかりの地だ。当時、東海道は白砂青松の海岸線に沿って通じていたという。遠め立て奥に家屋が密集し住跡を偲ぶすがもない。河口に出る。河幅が200mもあるうが、視野が広がり晴れ晴れした気分になる。水辺には数多くの水鳥が群れている。砂浜は意外にきれいだった。そして水は透明だ。この水の一滴に真光寺川の水も混ざっているのだろう。何かほっとした気分になった。たまたま散歩にきていた古者に、数十年前まだ、のどかな漁村だった頃の話聞く。キリンビール工場の見学と新年宴会。終わって、鶴見の曹洞宗大本山総持寺にお参りし、帰途につく。

1月20日(木)水サンプル採集

下堰親水、コイが2匹泳いでいる。ようやく群が帰ってくる兆なのだろうか。全国から鳥を記録しながら歩くことにする。

